

参加者の声

- ・話しがわかりやすく、聞いていてとても勉強になりました。貯めるトークンの活用を試みようと思います。支援方法など、詳しく教えてもらったことがとても良かったです。
- ・行動の分析や記録や評価（グラフや表）をぜひ活用させていただきます。
- ・具体的に教えて下さってありがとうございます。ABAによる実践は、事業所内で職員の周知が必要なので、勉強していかなければと思った。
- ・内容は思い当たる利用者の事例の参考になる話で参考になりました。聞き慣れない「好子」「嫌子」「弁別刺激」など、スッと入らなかったのですが、他のワードで説明頂くと入ってきたかと感じました。復習します!!
- ・発達検査をする前にABC分析をされるが多かったのですが、ABC分析するためにはしっかり観察しアセスメントしなければいけないことがよくわかりました。今回専門用語もたくさんあり、初めて聞いた言葉も多かったです。今本先生の講演を受講できてよかったです。私は相談支援専門員なので、ABC分析は難しいのですが、出来る限り勧めていきたいと思いました。
- ・あてはまる利用者様の顔を思い浮かべながら聞くことができました。
- ・自身が子供と接する中で、声かけが特に、気をつけないといけないなど実感しています。どう対応すれば良いか迷ったときに、あいまいな声かけや優しく声かけをしていたのですが、その声かけで接する子供に嫌な気持ちを持たせてしまったり、避けられてしまったことが最近あったので、とても勉強になりました。
- ・具体的な手立てがあって、取り入れやすいと思えました。
- ・本人の行動や環境、できることや好きなことなど、まずは理解し、観察することが大切だと分かりました。前向きにポジティブに職場内や支援者間で共有に一緒に楽しい支援をしていけたら良いと思います。
- ・とても分かりやすい内容でした。質疑応答で、現場での困り感がよくわかりました。
- ・児童発達支援事業所の職員です。対処法の4つのアプローチ、まさに日々、実践中です。子どもの様子は、その時々で変わります。柔軟に対応し、良い支援が出来るようにしたいと改めて感じました。
- ・好子、嫌子の機能について、細分化することで「なぜ」の部分が分かりやすくなり、利用者さんについて理解が深められると感じました。
- ・利用者さんの行動をよく観察し、記録をもとに環境を整えてあげることの重要性がよくわかりました。これからの支援にも生かしていきたいと思っています。
- ・資料がとても見やすく、今本先生の説明がわかりやすかったので頭にスッと入ってきました。行動分析することで、今後良い支援ができるようになりたいです。
- ・行動分析をしっかり行うことで、その行動が起きないように変わりの行動を伝え、実践し、本人も過ごしやすい環境を整えることが大切だと思いました。
- ・放課後等デイサービスで働いております。「自閉症児は新しい事を学ぶことさえストレスになる」はっとしました。学校からの宿題でイライラする子がたくさんおります。学校、

保護者、児童との対話も必要です。

- ・なぜその行動が起こっているのか、何が原因かを探ること、そしてその行動の記録をとることが大切ということを改めて勉強させていただきました。ABC分析を活用してよりよい支援をしていきたいと思えます。

- ・経験や勘ではなく、記録をとることで分析し、検証し、対応を考えていくことが大切であることを改めて感じさせていただきました。

- ・好子、嫌子ワークシート、行動問題アセスメント情報、ABC分析記録シートなど、参考になりました。

- ・推測で判断せずに観察と記録による検証が大切であることがわかりました。

- ・具体例があり、通っている利用者を思い浮かべながら話を聞くことができたので、理解しやすかったです。行動だけを見るのではなく、環境や前後の事象に目を向けて記録をとりながら対策を考えていきます。

- ・環境の影響をしっかりと考えて、整えてあげることが大切だと思えました。

- ・好子、嫌子の状態を上手に活用できれば、利用者さんにも自分達にも良い方向に向かうという事が知れてよかったです。

- ・視覚的支援を増やす事で、言語指示が減り、攻撃行動の誘発を減らせる事を知れてよかったです。

- ・行動の原因となるもの、ならないものの要因などについて学ぶことができました。

- ・ABA実践の流れやPDCAなどの活用大切さを改めて感じる事ができました。「好子や嫌子」利用者の事を良く知りながら対応していく必要性や代わりの行動など、現場で実践できることを学んだので、実際に生かしていこうと思えます。

- ・具体的な支援の仕方を知ることができた。

- ・質疑応答の時間で具体例として、所属している事業所でも該当しそうな利用者がいたので、早速行動分析をして本人にとっても職員にとっても最適な支援を見つけていこうと思えます。

- ・考え方が変わりました。とても勉強になりました。現場で生かせるよう、されに勉強したいと思えます。日々、子どもたちの観察をし、支援を工夫していきたいと思えます。

- ・原因を推定して対応することの大切さを学びました。(自閉症児者に関わるのに、「環境」(言葉、視覚的など)が大事ということを学びました。)

- ・問題行動に対する、カード使用やトークンの活用方法の具体例がとてもわかりやすかったです。

- ・“ポジティブ行動支援”という言葉が特に印象的でした。

- ・漠然と対応していたことに対して、具体的な方法を示してもらえたので、仕事に活かしていきたいと思えます。

- ・所属している部署では、強度行動障害、ASDの方がいらっしゃいます。日々利用者さんに適切な支援の提供ができているのかと思いつつ行っています。今日の研修を受けて、改めて、記録の大切さ、根拠(データ)に基づいて適切なアセスメントから修正をかけていくことが重要ということを知りました。

- ・問題行動そのものではなく、その原因を観察（記録）しながら考えていき、アプローチしていくことの大切さがよく分かりました。ありがとうございました。
- ・事業所に来られる児童の中にも、口にもものを入れたり、大声を出したり等、様々なタイプの子に対してどう関わるのが本児にとって正しいのか悩んでいたことがあったため、今回の行動から考えられる先行事象と結果事象から結びつけて本児が何を訴えているかをかんがえて療育を進めていこうと感じました。
- ・行動問題アセスメント情報の記入について、参考になりました。活用していけたらと思います。
- ・放デイです。質問の中に「何も参加しないけど…」というのがありましたが、当事業所でも似たような事がたまにありなので、対応について参考になりました。
- ・事業所にて活用可能な部分は活用していきたい。職員間で共有し、全職員で統一した支援を行っていきたい。詳しい説明をありがとうございました。
- ・ABAについて以前から調べていたが実際の事例や映像などでやり方を詳しく教えていただき、大変学びになりました。
- ・講師の先生の『感や経験に頼らずに根拠を重要視する』という言葉これから常に頭に置いて、療育を行っていきたいと思いました。事業所に行っているお子さんの記録を取ってみて行動の背景や原因の分析を行って見たいと思いました。
- ・自閉症児に対して、支援の仕方具体的に知る事ができ、とても有意義な研修でした。行動分析学に基づいて考えていくと支援の仕方が見えてきて実践に役立てる事が出来そうです。
- ・行動障害＝問題行動ではなく、本人の学習の過程で生まれること、本人の意思の表れであることがわかりました。本人の行動をよく観察し、アセスメントを繰り返してより良い支援ができるようにこの研修で学んだことを生かしていきたいです。
- ・行動の分析（見える化）、エビデンスの大切さがよくわかりました。